

**総社市議会に関するアンケート
－ 報告書 －**

平成24年7月
岡山県 総社市

～ 目 次 ～

I 調査の概要 -----	1
II 回答者の属性 -----	3
III 調査結果 -----	4
1. 市議会への関心度-----	4
2. 市議会だよりの閲読状況-----	6
3. 本会議の傍聴経験-----	8
4. 市議会に対する評価-----	10
5. 市民の意見や声の議会への反映-----	12
6. 市議会改革の必要性-----	14
7. 議会の課題について-----	16
8. 議員数について-----	18
9. 適正と思う議員定数-----	20
10. 議員報酬について-----	22
11. 適正と思う議員報酬-----	24
12. 政務調査費について-----	26
IV 本会議傍聴経験別クロス集計結果 -----	28
資料／調査票 -----	38

I 調査の概要

【調査の目的】

総社市議会に対する市民の意見等を把握し、今後の議会改革の参考とするために実施した。

【調査地域】

総社市全域

【調査対象】

本市に居住する 20 歳以上の市民

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布，郵送回収

【調査時期】

平成 24 年（2012 年）4 月

【回収結果】

配布数-----2,000 件

有効回収数-----745 件

有効回収率-----37.3%

◆地区別回収状況(上段:回答件数, 下段:構成比%)◆

合計	総社地区	常盤地区	三須地区	服部地区	阿曾地区	池田地区	秦地区
745	274	80	28	22	31	18	15
100.0	36.8	10.7	3.8	3.0	4.2	2.4	2.0

神在地区	久代地区	山田地区	新本地区	昭和地区	山手地区	清音地区	無回答
27	46	9	12	42	41	70	30
3.6	6.2	1.2	1.6	5.6	5.5	9.4	4.0

【報告書の見方について】

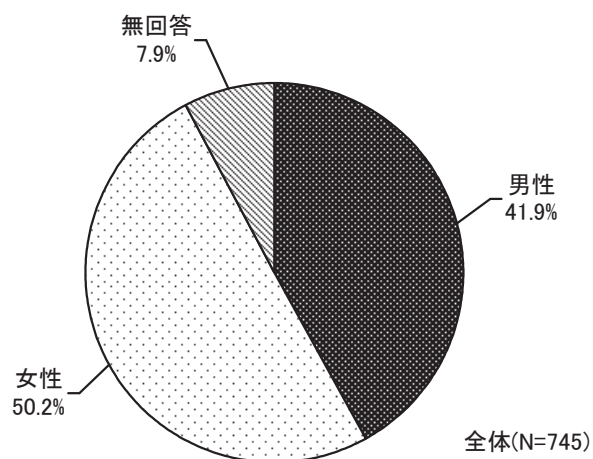
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{*}を「n」で標記している。
- (4) 図表中における性別、年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%,0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における「男性」や「20歳代」・・・など、限定された回答者数

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

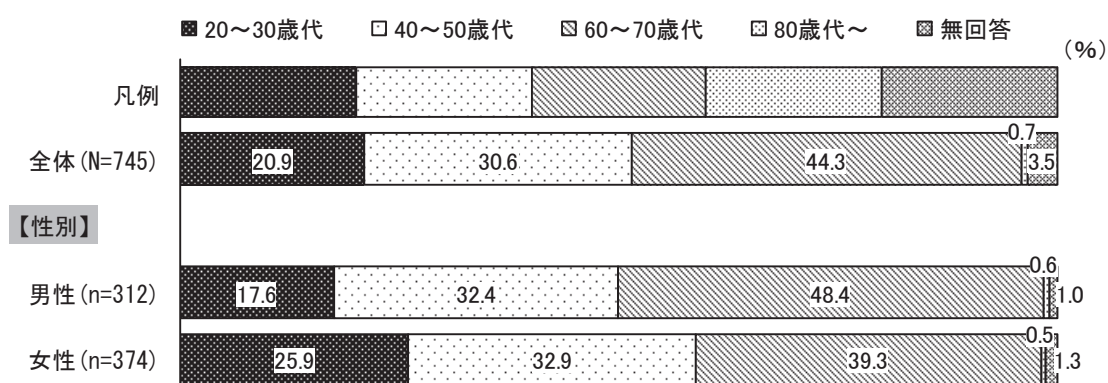
性別は「男性」が41.9%、「女性」が50.2%で、女性の割合がやや高くなっている。



2. 年齢

年齢は、「60～70歳代」の割合が44.3%と最も高く、次いで「40～50歳代」(30.6%)、「20～30歳代」(20.9%)と続き、「80歳代～」は0.7%となっている。

性別で見ると、男性は「60～70歳代」、女性は男性に比べ「20～30歳代」の割合がそれぞれ高く、相対的に男性で年配層が多くなっている。

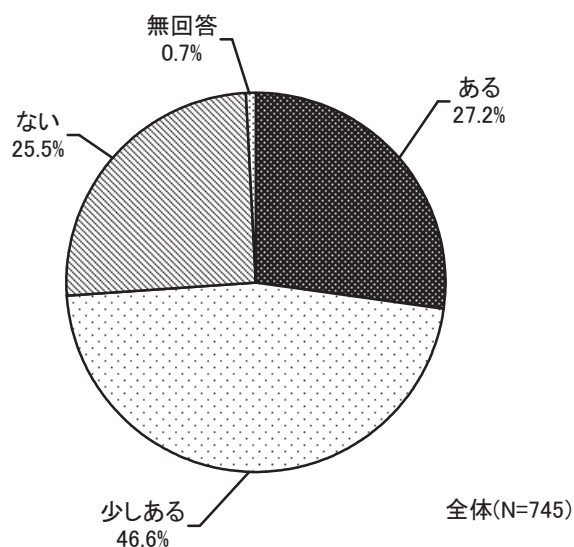


Ⅲ 調査結果

1. 市議会への関心度

問 1. 市議会に関心がありますか。

【全体傾向】



【全体傾向】

市議会への関心については「ある」が27.2%、「少しある」が46.6%で、合計7割以上(73.8%)が『関心がある』と回答している。

【性別】

「ある」への回答をみると、性別では男性は3割以上を占めるが、女性は2割程度となっており、男性で関心度が高くなっている。

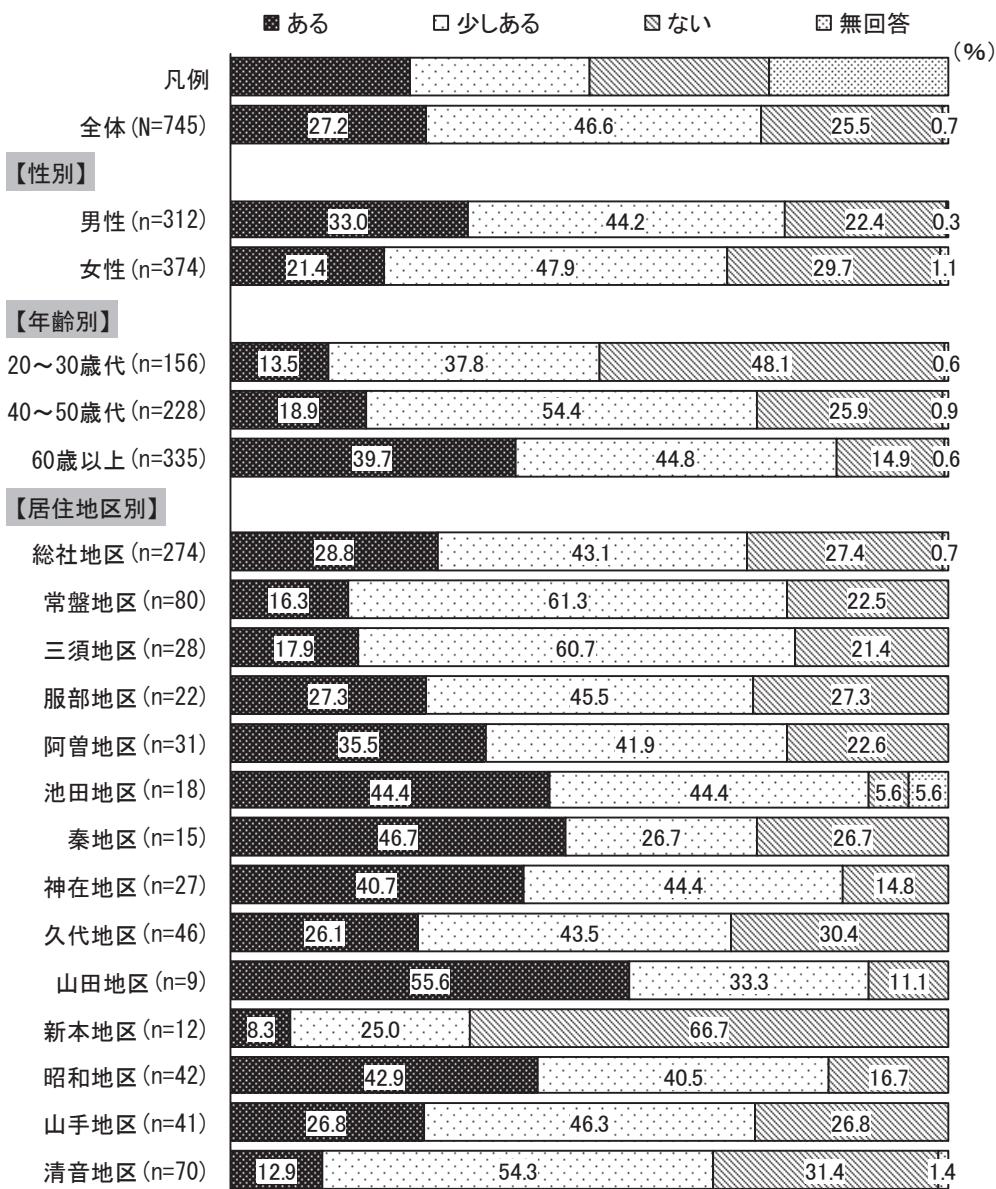
【年齢別】

年齢が上がるほど「ある」への回答も高くなる傾向にあり、特に60歳以上では4割近くを占めている。

【居住地区別】

他の地区に比べ池田地区、秦地区、神在地区、昭和地区などで関心度が高くなっている。

◆問1. 市議会への関心度

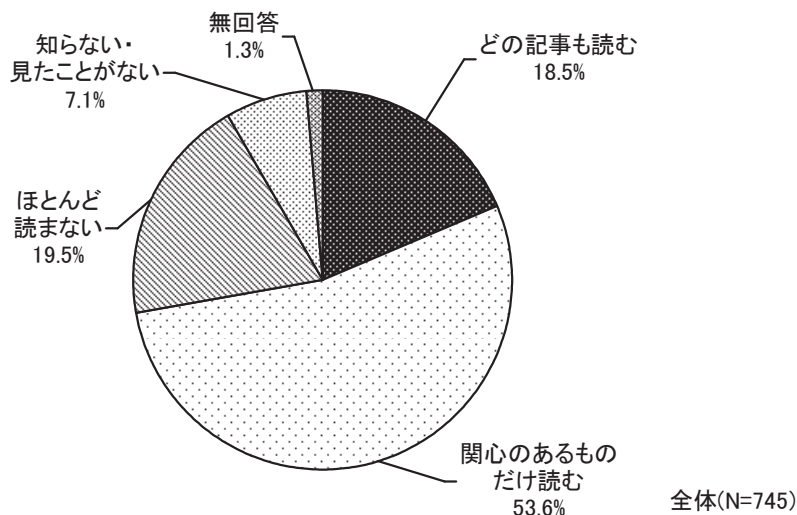


注: 居住地区別クロス集計のうち、山田地区は該当件数(n)が少ないため参考値として参照されたい(以下同様)。

2. 市議会だよりの閲読状況

問2. 「市議会だより」を読んでいますか。

【全体傾向】



【全体傾向】

市議会だよりの閲読状況については、「関心のあるものだけ読む」の割合が最も高く53.6%と過半数を占め、「どの記事も読む」(18.5%)と合計した『閲読率』は7割以上(72.1%)となっている。

【性別】

男性で「どの記事も読む」の割合が女性を上回っている。

【年齢別】

年齢が上がるほど「どの記事も読む」の割合も高くなる傾向にあり、逆に、若い年齢層ほど「ほとんど読まない」あるいは「知らない・見たことがない」の割合が高い傾向にある。

【居住地区別】

阿曾地区、池田地区、秦地区、神在地区などで「どの記事も読む」の割合が高く、三須地区、新本地区などでは「ほとんど読まない」の割合が他の地区に比べ高くなっている。

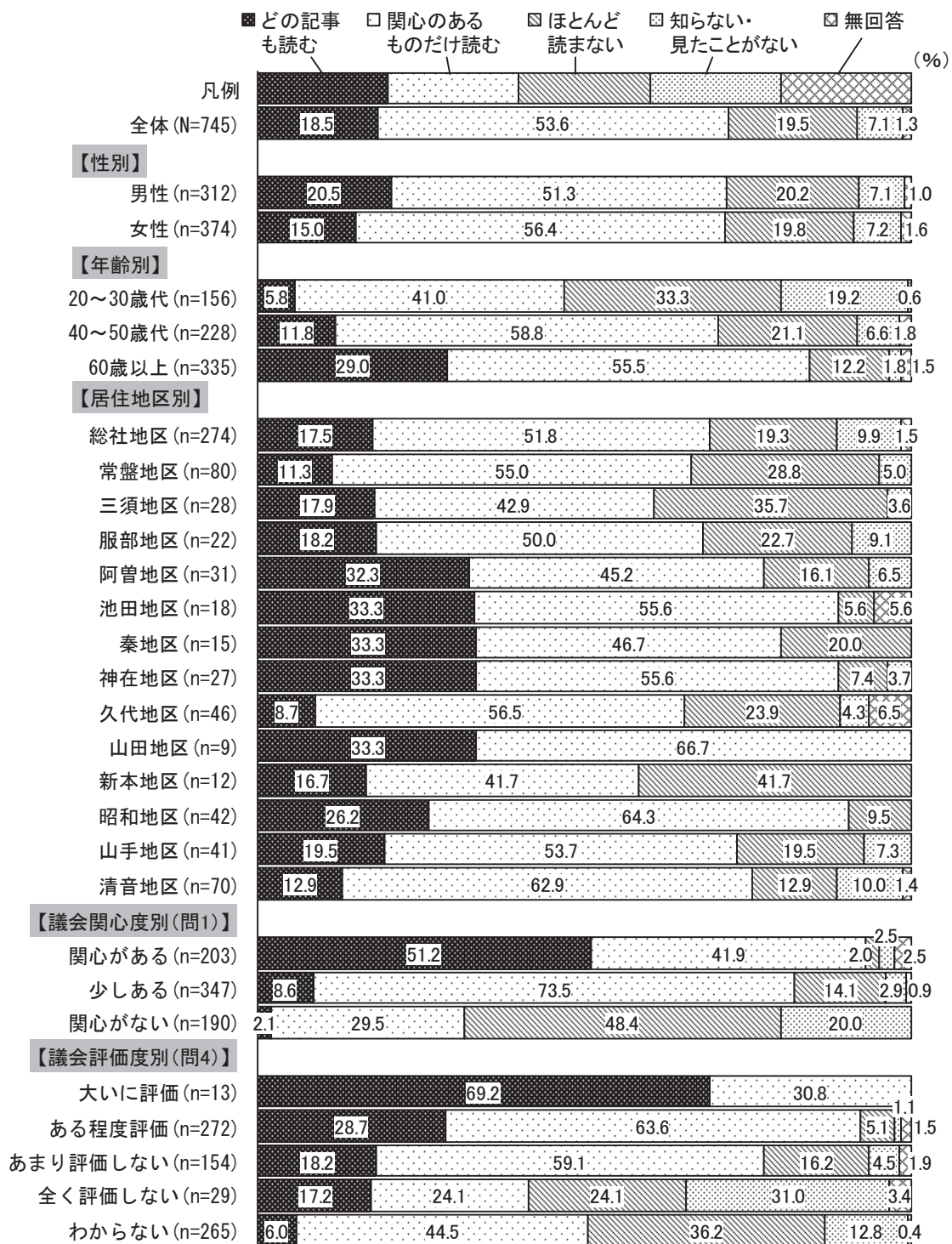
【議会関心度別（問1）】

議会に対して関心がある層では「どの記事も読む」の割合が過半数を占めているが、関心がない層では「ほとんど読まない」あるいは「知らない・見たことがない」の割合が他の層を大きく上回っており、関心度と相関関係がある。

【議会評価度別（問4）】

議会を評価する層ほど「どの記事も読む」割合も高くなる傾向にあり、特に、大いに評価する層ではその割合は約7割を占め、相関関係がある。

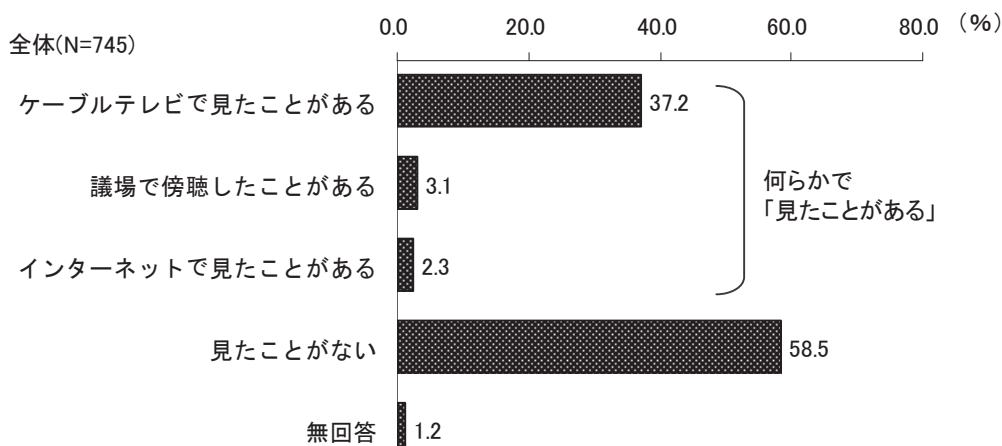
◆問2. 市議会だよりの閲読状況



3. 本会議の傍聴経験

問3. 市議会の本会議を見たことがありますか。(複数回答可)

【全体傾向】



【全体傾向】

本会議の傍聴経験については、「見たことがない」が58.5%と6割程度であることから、おおむね4割程度が傍聴経験者とみることができる。傍聴経験は「ケーブルテレビで見たことがある」が37.2%と大半を占めている。「議場で傍聴したことがある」は3.1%、「インターネットで見たことがある」は2.3%とそれぞれ割合は低い。

【性別】

女性で「見たことがない」割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

【年齢別】

年齢が上がるほど「ケーブルテレビで見たことがある」割合が高くなる傾向にあり、年齢が若い層ほど「見たことがない」割合が高くなる傾向にあり、年齢差が顕著である。

【居住地区別】

池田地区、秦地区などで他の地区に比べ「ケーブルテレビで見たことがある」割合が高く、山手地区、清音地区などでは他の地区に比べ「見たことがない」割合が高くなっている。

【議会関心度別（問1）】

議会に関心がある層ほど「ケーブルテレビで見たことがある」割合が高く、関心がない層では「見たことがない」割合が高い。議会への関心度と傍聴経験には相関関係がある。

【議会評価度別（問4）】

議会を大いに評価する層では、「ケーブルテレビで見たことがある」「議場で傍聴したことがある」の割合が他の層に比べ高く、特に「議場で傍聴したことがある」割合は8割近くとなっている。

◆問3. 本会議の傍聴経験(複数回答)

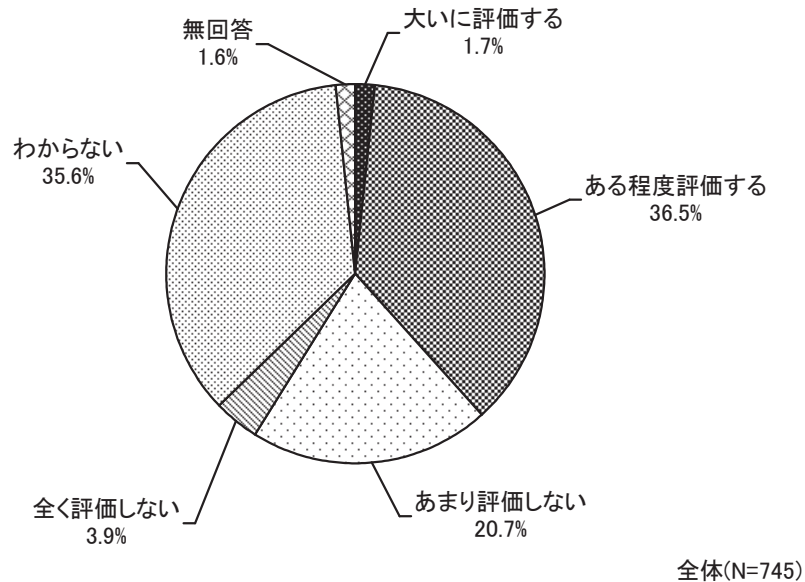
単位(%)		ケーブルテレビで見た	ある議場で傍聴したことがある	インターネットで見た	見たことがない
全体(N=745)		37.2	3.1	2.3	58.5
性別	男性(n=312)	36.9	3.2	3.5	56.4
	女性(n=374)	36.6	3.2	1.3	61.0
年齢別	20～30歳代(n=156)	23.7	0.0	1.3	75.0
	40～50歳代(n=228)	39.0	1.8	2.2	59.2
	60歳以上(n=335)	41.8	5.7	2.7	50.4
居住地区別	総社地区(n=274)	33.6	3.6	2.2	61.3
	常盤地区(n=80)	43.8	2.5	3.8	52.5
	三須地区(n=28)	35.7	0.0	7.1	60.7
	服部地区(n=22)	45.5	9.1	4.5	50.0
	阿曾地区(n=31)	38.7	0.0	0.0	58.1
	池田地区(n=18)	72.2	5.6	11.1	22.2
	秦地区(n=15)	66.7	6.7	0.0	26.7
	神在地区(n=27)	37.0	0.0	3.7	55.6
	久代地区(n=46)	56.5	0.0	0.0	39.1
	山田地区(n=9)	66.7	11.1	11.1	22.2
	新本地区(n=12)	50.0	0.0	0.0	50.0
	昭和地区(n=42)	54.8	7.1	2.4	40.5
	山手地区(n=41)	9.8	2.4	0.0	87.8
清音地区(n=70)	11.4	1.4	0.0	87.1	
関心議度別	関心がある(n=203)	56.2	8.4	5.9	33.5
	少しある(n=347)	36.9	1.4	1.2	61.1
	関心がない(n=190)	16.3	0.0	0.5	81.6
議会評価別	大いに評価(n=13)	15.4	76.9	7.7	15.4
	ある程度評価(n=272)	3.7	44.5	3.7	49.3
	あまり評価しない(n=154)	3.9	46.1	1.9	50.6
	全く評価しない(n=29)	3.4	37.9	6.9	55.2
	わからない(n=265)	1.1	22.3	0.0	75.8

注: 表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。
(例/性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢に網掛け。)
但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。
また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

4. 市議会に対する評価

問4. 現在の市議会をどのように評価しますか。

【全体傾向】



【全体傾向】

市議会に対する評価については、「大いに評価する」が 1.7%、「ある程度評価する」が 36.5%で、合計で約4割（38.2%）が『評価する』と回答している。一方、「あまり評価しない」（20.7%）、「全く評価しない」（3.9%）を合計した『評価しない』割合は 24.6%となっている。

【性別】

男性で『評価する』割合が女性よりも高く、女性は「わからない」の割合が高い。

【年齢別】

年齢が上がるほど『評価する』割合も高くなる傾向にあるが、一方で年齢が若い層ほど「わからない」割合が高く、年齢による意識差が顕著である。

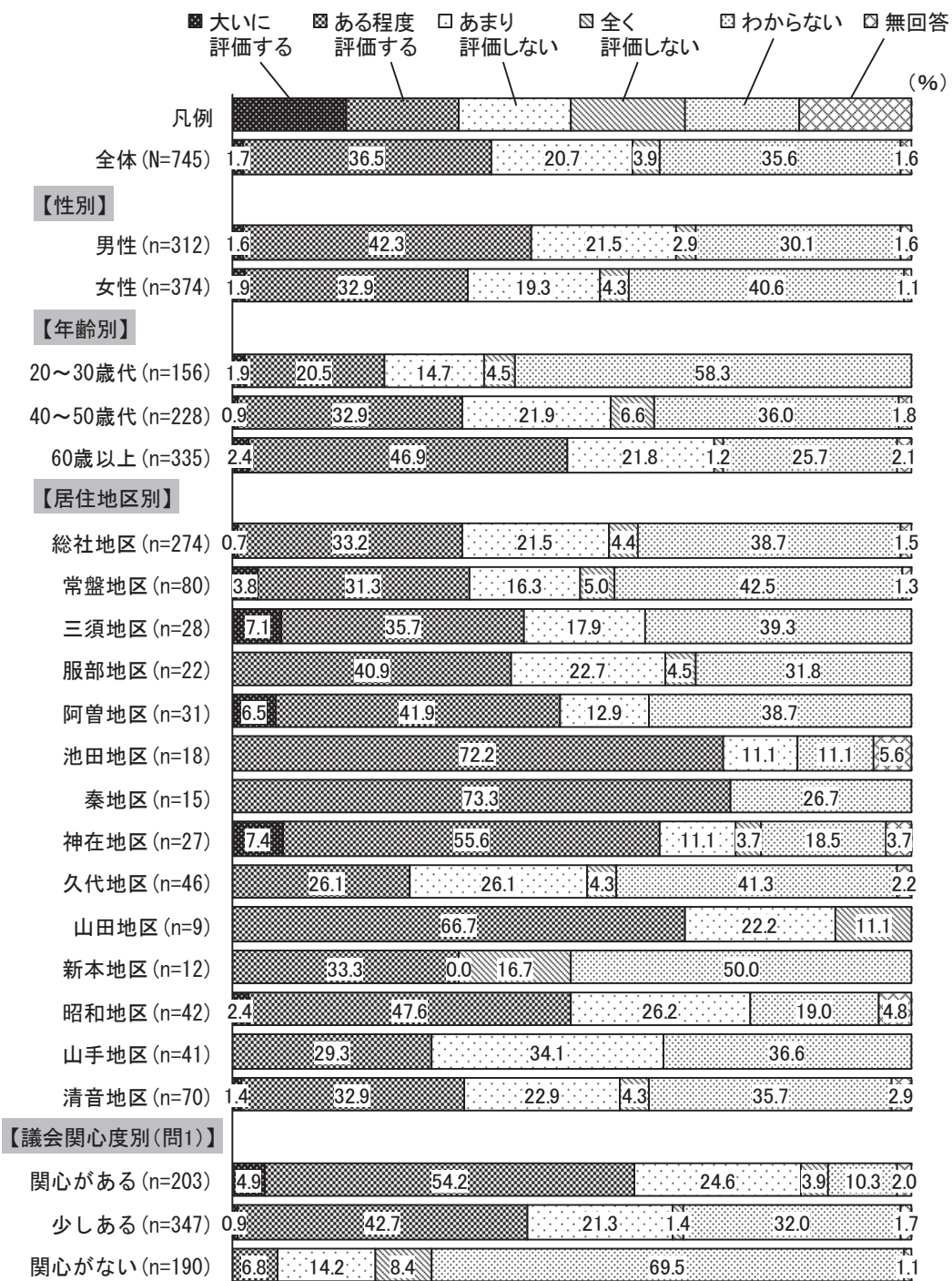
【居住地区別】

池田地区、秦地区、神在地区などで、他の地区に比べ『評価する』割合が高くなっている。また、三須地区、阿曾地区、神在地区では、特に「大いに評価する」割合が高くなっている。

【議会関心度別（問1）】

議会に関心がある層ほど『評価する』割合も高くなる傾向にあり、議会への関心度と市議会に対する評価には相関関係がある。

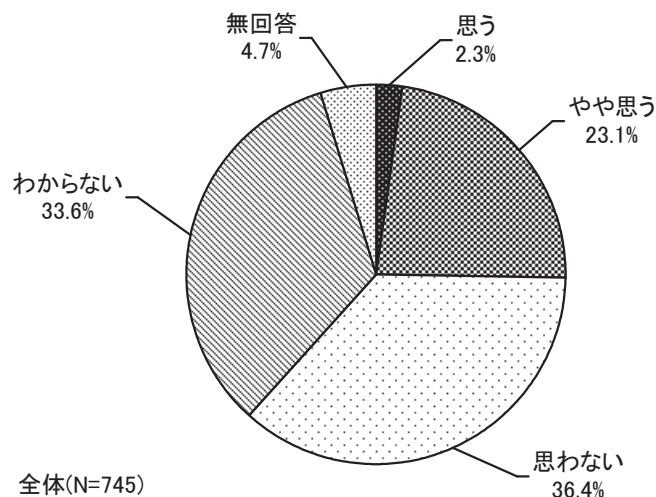
◆問4. 市議会に対する評価



5. 市民の意見や声の議会への反映

問5. あなたの意見や市民の声が、市議会に反映されていると思いますか。

【全体傾向】



【全体傾向】

市民の意見や声の議会への反映については、「思う」が2.3%、「やや思う」が23.1%で、合計で25.4%と、およそ4人に1人が『思う（反映されている）』と回答している。一方、「思わない（反映されていない）」割合は36.4%と、『思う（反映されている）』を上回って最も高くなっている。また「わからない」への回答が33.6%みられた。

【性別】

男性で『思う（反映されている）』割合が女性よりも高く、女性は「わからない」の割合が高い。

【年齢別】

年齢が上がるほど『思う（反映されている）』割合も高くなる傾向にあるが、一方で年齢が若い層ほど「わからない」割合が高く、年齢による差が顕著である。

【居住地区別】

池田地区、神在地区、新本地区、昭和地区などで、他の地区に比べ『思う（反映されている）』割合が高くなっている。

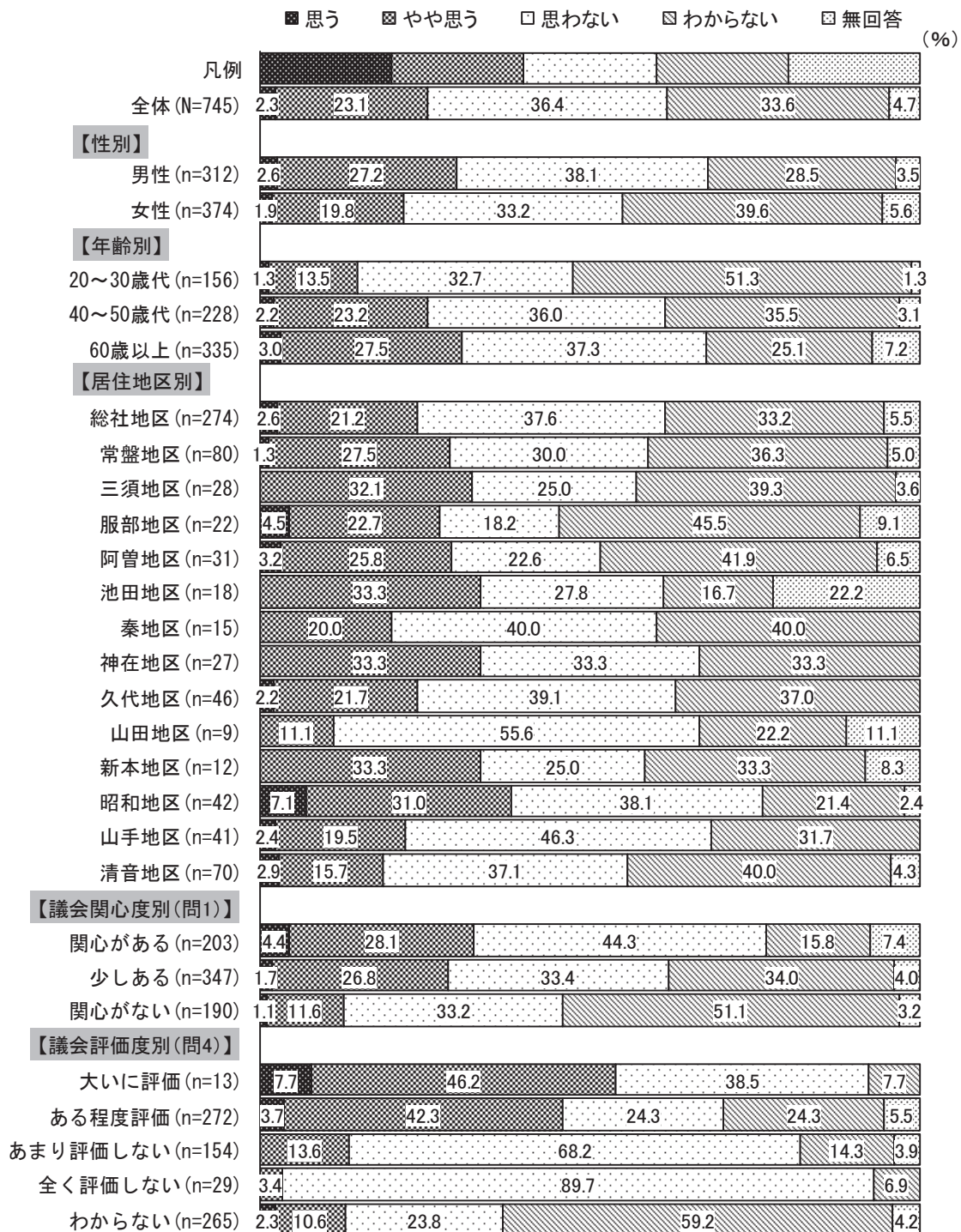
【議会関心度別（問1）】

議会に関心がある層ほど『思う（反映されている）』割合も高くなる傾向にあるが、関心がない層では「わからない」割合が高くなっている。

【議会評価度別（問4）】

議会を評価する層ほど『思う（反映されている）』割合も高くなる傾向にあり、特に、大いに評価する層ではその割合は過半数を占める。

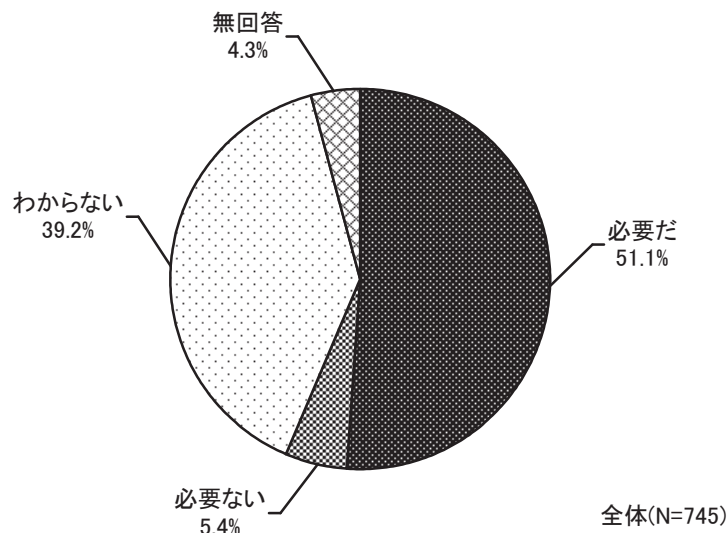
◆問5. 市民の意見や声の議会への反映



6. 市議会改革の必要性

問6. 市議会の改革は必要だと思いますか。

【全体傾向】



【全体傾向】

市議会改革の必要性については、「必要だ」の割合が51.1%と過半数を占め最も高く、「必要ない」は5.4%であった。なお「わからない」が39.2%と4割近くを占めている。

【性別】

男性で「必要だ」の割合が過半数を占め女性を上回る。女性は「わからない」の割合が高い。

【年齢別】

40歳以上の層で「必要だ」の割合がそれぞれ過半数を占めている。20～30歳代では「わからない」の割合が高い。

【居住地別】

特に服部地区、昭和地区で「必要だ」の割合が高い。一方で、秦地区、新本地区では「必要ない」の割合が高い。

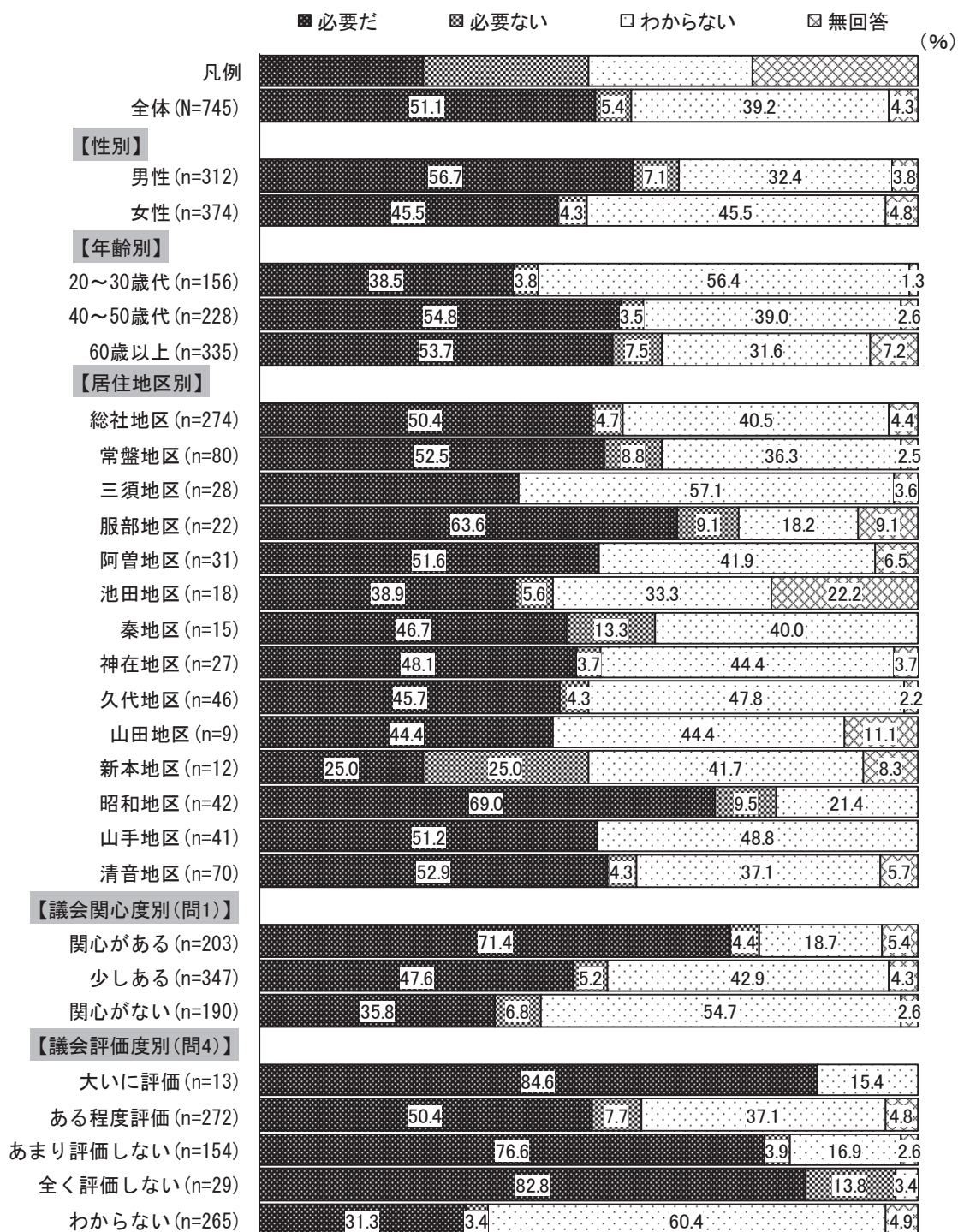
【議会関心度別（問1）】

議会に関心がある層ほど「必要だ」の割合も高くなる傾向にあるが、関心がない層では「わからない」割合が高くなっている。

【議会評価度別（問4）】

議会を大いに評価する層と全く評価しない層では、ともに8割以上が「必要だ」と回答している。あまり評価しない層でも「必要だ」の割合は7割を超えている。

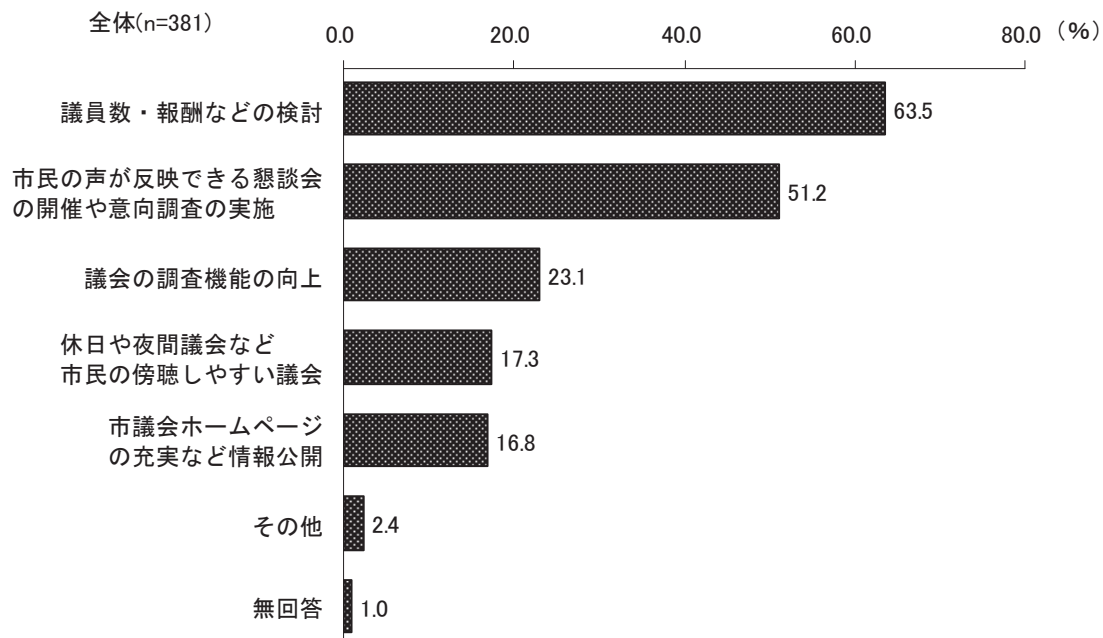
◆問6. 市議会改革の必要性



7. 議会の課題について

問7. 問6で「市議会の改革が必要だ」を選ばれた方にお尋ねします。議会が改革に取り組む課題は何だと思えますか。(複数回答可)

【全体傾向】



【全体傾向】

議会の課題については、「議員数・報酬などの検討」の割合が63.5%と最も高く、次いで「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」が51.2%で続いている。以下「議会の調査機能の向上」(23.1%)、「休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会」(17.3%)の順となっている。

【性別】

大きな男女差は目立たない。

【年齢別】

年齢が上がるほど「議員数・報酬などの検討」の割合も高くなる傾向にあるが、この他の項目については、年齢が若い層ほど割合が高くなる傾向にある。

【議会関心度別 (問1)】

議会に関心がある層では、「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」「議会の調査機能の向上」、関心がない層では、「議員数・報酬などの検討」などの割合がそれぞれ高く、関心度によって差がみられる。

【議会評価度別 (問4)】

議会を大いに評価する層では「市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施」、全く評価しない層では「議員数・報酬などの検討」などの割合がそれぞれ高く、評価度によって差がみられる。

◆問7. 議会の課題について(複数回答)

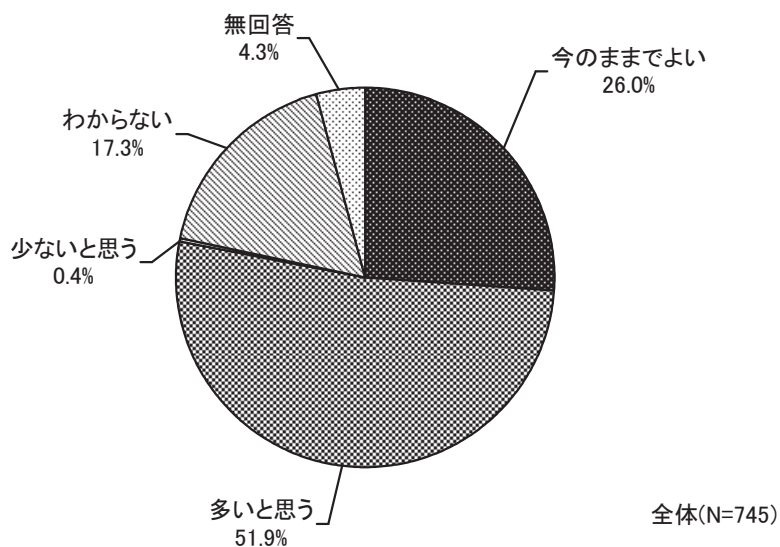
単位(%)		議員数・報酬などの検討	市民の声や反映できる開催や意向調査の実施	議会の調査機能の向上	休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会	市議会ホームページの充実など情報公開	その他
全体(n=381)		63.5	51.2	23.1	17.3	16.8	2.4
性別	男性(n=177)	62.1	53.7	26.0	19.8	14.7	3.4
	女性(n=170)	61.2	49.4	20.0	15.9	19.4	0.6
年齢別	20～30歳代(n=60)	50.0	58.3	25.0	21.7	30.0	0.0
	40～50歳代(n=125)	62.4	54.4	24.0	19.2	20.0	1.6
	60歳以上(n=180)	66.7	47.8	22.8	14.4	11.1	3.3
関心度別	関心がある(n=145)	56.6	59.3	27.6	20.0	17.2	4.1
	少しある(n=165)	66.7	49.7	21.8	16.4	16.4	1.8
	関心がない(n=68)	70.6	38.2	16.2	13.2	17.6	0.0
議会評価度別	大いに評価(n=11)	27.3	81.8	27.3	27.3	18.2	0.0
	ある程度評価(n=137)	56.9	51.1	22.6	16.8	16.8	3.6
	あまり評価しない(n=118)	74.6	52.5	24.6	14.4	16.9	1.7
	全く評価しない(n=24)	83.3	41.7	29.2	12.5	12.5	0.0
	わからない(n=83)	56.6	48.2	15.7	20.5	16.9	2.4

8. 議員数について

問8. 議員定数は24人です。議員数についてどう思いますか。

(別紙, 資料1「県下15市議会の状況」を参照してください。)

【全体傾向】



【全体傾向】

議員数については、「多いと思う」が51.9%と、過半数を占め最も高く、次いで「今のままでよい」が26.0%、「少ないと思う」が0.4%となっている。なお「わからない」が17.3%みられた。

【性別】

男性で「多いと思う」の割合がやや高くなっている。

【年齢別】

年齢が上がるほど「多いと思う」の割合が高くなる傾向にあり、年齢が若い層ほど「わからない」の割合が高くなる傾向にある。また、各年齢層ともに「今のままでよい」の割合は同程度となっている。

【居住地区別】

常盤地区、服部地区、秦地区などでは「多いと思う」の回答割合が他の地区に比べ高くなっている。また、阿曾地区、新本地区、昭和地区などでは「今のままでよい」、総社地区、池田地区、久代地区、山手地区などでは「わからない」の割合がそれぞれ高くなっている。

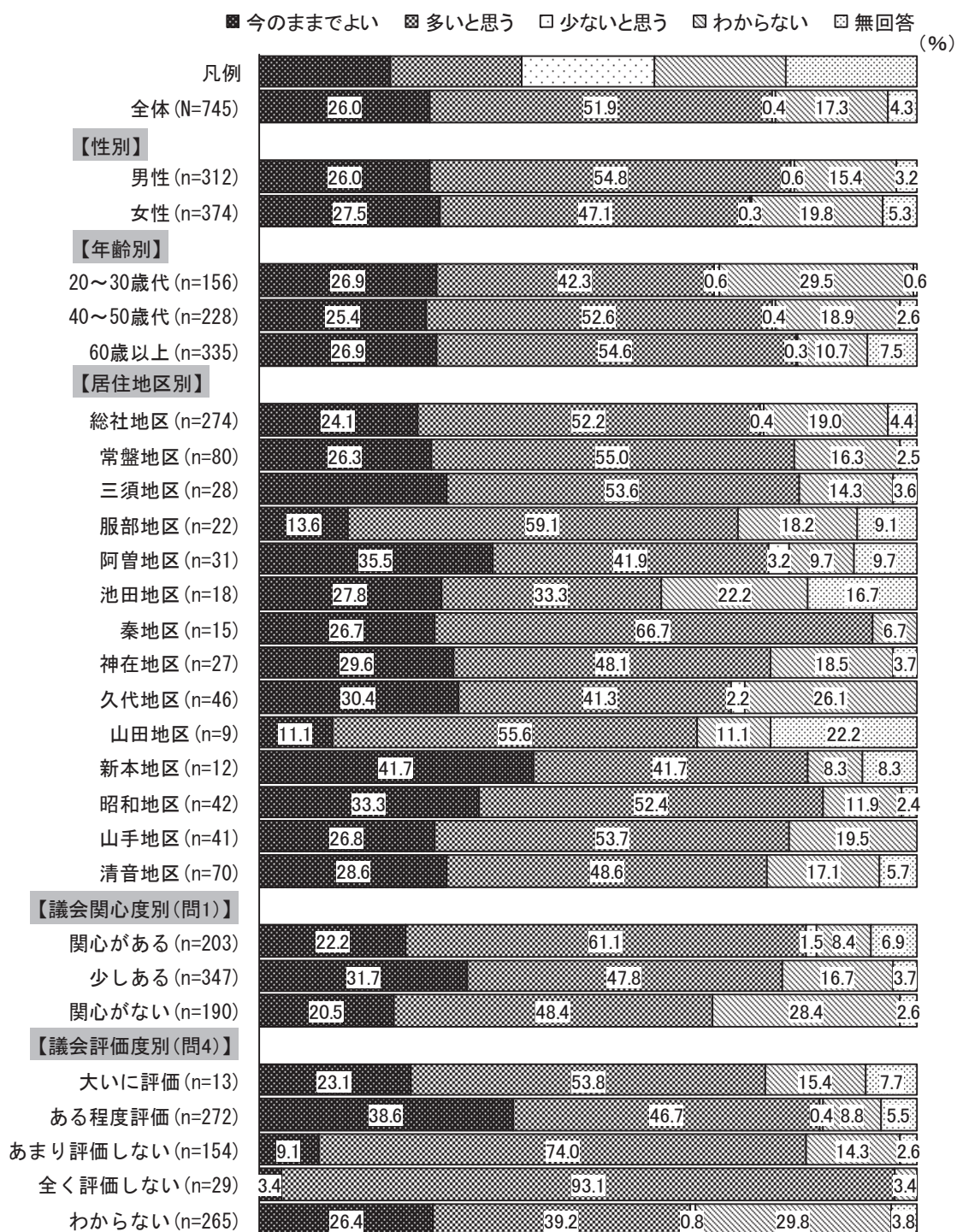
【議会関心度別（問1）】

議会に関心がある層では、「多いと思う」の割合が他の層を大きく上回っており、関心がない層では「わからない」の割合が高い。

【議会評価度別（問4）】

議会をある程度評価する層では「今のままでよい」の割合が他の層を上回っているが、あまり評価しない、及び全く評価しない層では、それぞれ「多いと思う」の割合が高くなっている。

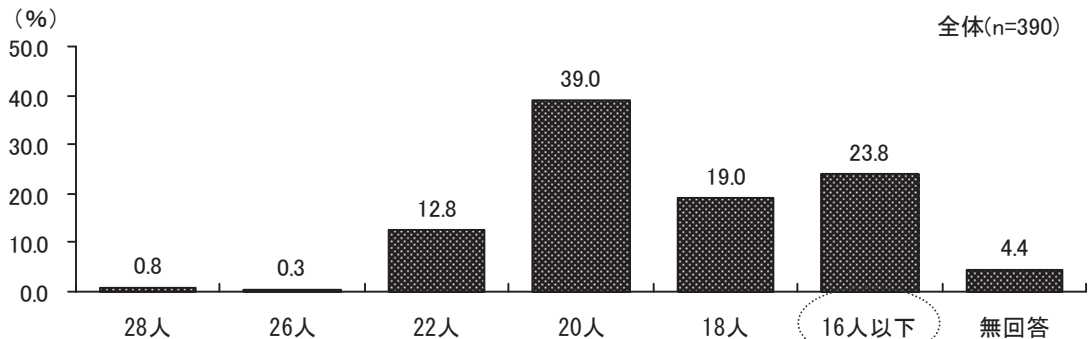
◆問8. 議員数について



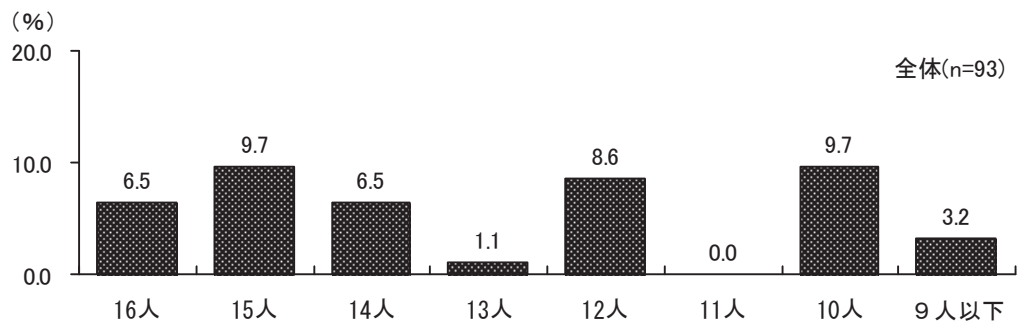
9. 適正と思う議員定数

問9. 問8で、議員数が「多いと思う」「少ないと思う」を選ばれた方にお尋ねします。議員定数は、何人がよいと思いますか。

【全体傾向】



【「16人以下」へ回答の場合の具体的人数】



注:無回答(54.8%)は図では省略している。

【全体傾向】

適正と思う議員定数については、「20人」が39.0%と最も高く、次いで「16人以下」(23.8%)、「18人」(19.0%)の順となっており、これら『20人以下(合計)』で全体の8割(81.8%)を占めている。「16人以下」への回答は23.8%(93件)あるが、内訳は上図(下段)のとおり、「15人」「10人」(各9.7%)、「12人」(8.6%)など、バラつきがみられる。

【性別・年齢別】

性別、年齢別ともに大きな差は目立たないが、20～50歳代の年齢層で「16人以下」の割合が60歳以上を上回っている。

【居住地区別】

三須地区などでは「20人」、昭和地区などでは「16人以下」、阿曾地区などでは「18人」の割合がそれぞれ他の地区を上回って高くなっている。

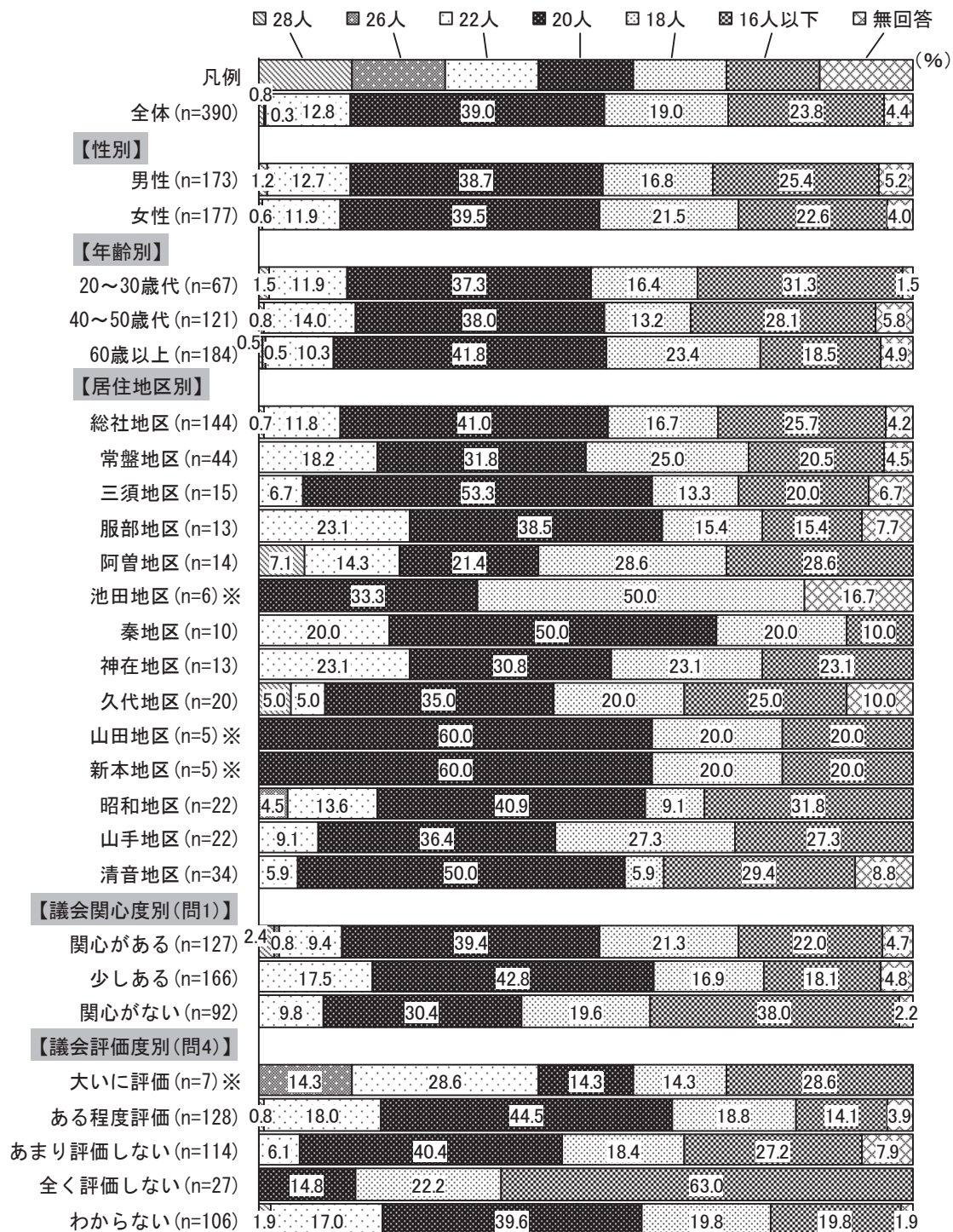
【議会関心度別(問1)】

議会に関心がある、あるいは少しある層では「20人」、関心はない層では「16人以下」の割合が高い。

【議会評価度別（問4）】

議会を大いに評価する層では、他の層に比べ「22人」の割合が高いが、「26人」（増員）への回答も1割強みられる。また、ある程度評価する層では「20人」への回答が多い。一方、全く評価しない層で「16人以下」の割合が、他の層を大きく上回っているのが目立っている。

◆問9. 適正と思う議員定数



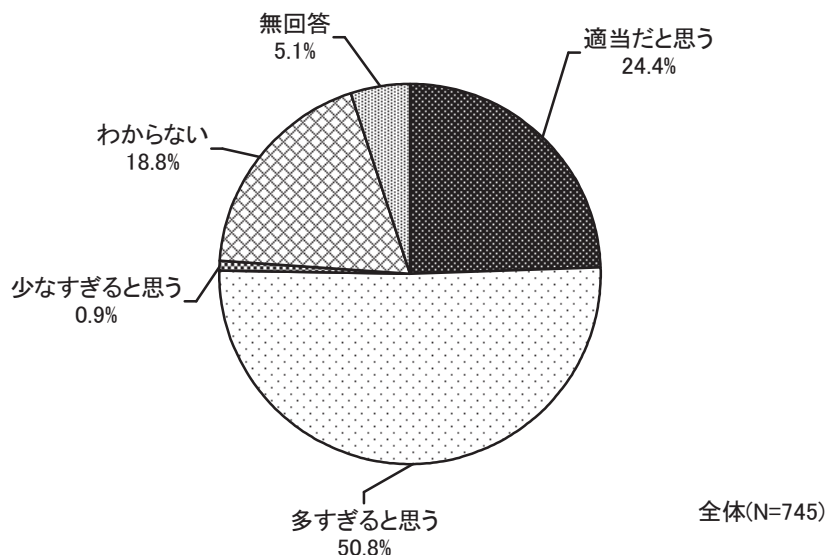
注1: 当該設問の回答者は、前設問(問8)で「多いと思う」または「少ないと思う」の回答者のみであるが、「多いと思う」への回答者数が387人、「少ないと思う」への回答者数が3人であることから、「多いと思う場合」「少ないと思う場合」などの区分をせずに390人を基数として集計(n=390)している。

注2: 上記クロス集計のうち、※印は該当件数(n)が少ないため参考値として参照されたい。

10. 議員報酬について

問 10. 市議会議員に、毎月 40 万円の報酬が支給されています。報酬について、どう思いますか。(別紙、資料 1「県下 15 市議会の状況」を参照してください。)

【全体傾向】



【全体傾向】

議員報酬については、「多すぎると思う」の割合が 50.8%と過半数を占め最も高く、次いで「適当だと思う」が 24.4%で続いている。「少なすぎると思う」は 0.9%、また「わからない」が 18.8%みられた。

【性別】

男性で「適当だと思う」が女性をやや上回り、女性は男性に比べ「わからない」の割合が高い。

【年齢別】

大きな差は目立たないが、60 歳以上で「多すぎると思う」割合が他の年齢層を上回っている。

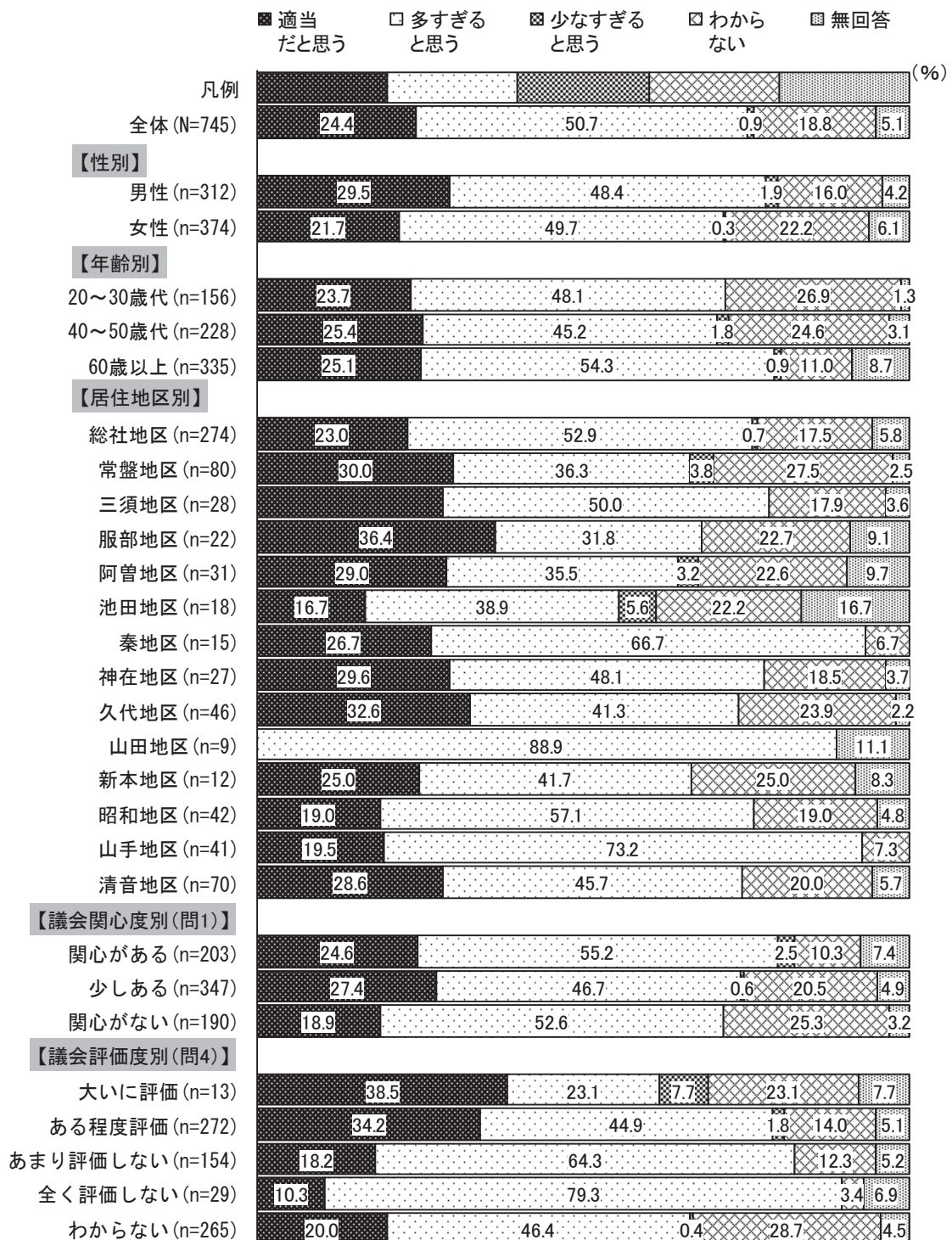
【居住地別】

常盤地区、服部地区、久代地区などで「適当だと思う」、秦地区、昭和地区、山手地区などで「多すぎると思う」割合が、それぞれ他の地区を上回って高くなっている。

【議会関心度別（問 1）・議会評価度別（問 4）】

議会に関心がない層で「わからない」割合が高く、また議会を評価する層ほど「適当だと思う」、評価しない層ほど「多すぎると思う」の割合が他の層を上回って高くなっている点で差がみられる。

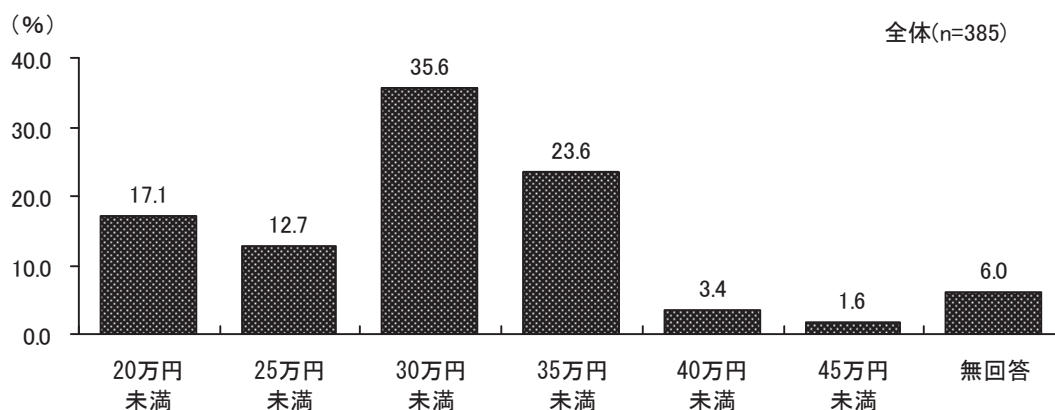
◆問 10. 議員報酬について



11. 適正と思う議員報酬

問 11. 問 10 で、報酬は「多すぎと思う」「少なすぎと思う」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。

【全体傾向】



【全体傾向】

適正と思う議員報酬については、「30万円未満」の割合が35.6%と最も高く、次いで「35万円未満」(23.6%)、「20万円未満」(17.1%)、「25万円未満」(12.7%)の順となっており、これら『35万円未満(合計)』で、全体の約9割(89.0%)を占めている。

【性別・年齢別】

性別、年齢別では、ともに大きな差は目立たないが、20～30歳代で「30万円未満」の割合がやや高くなっている。

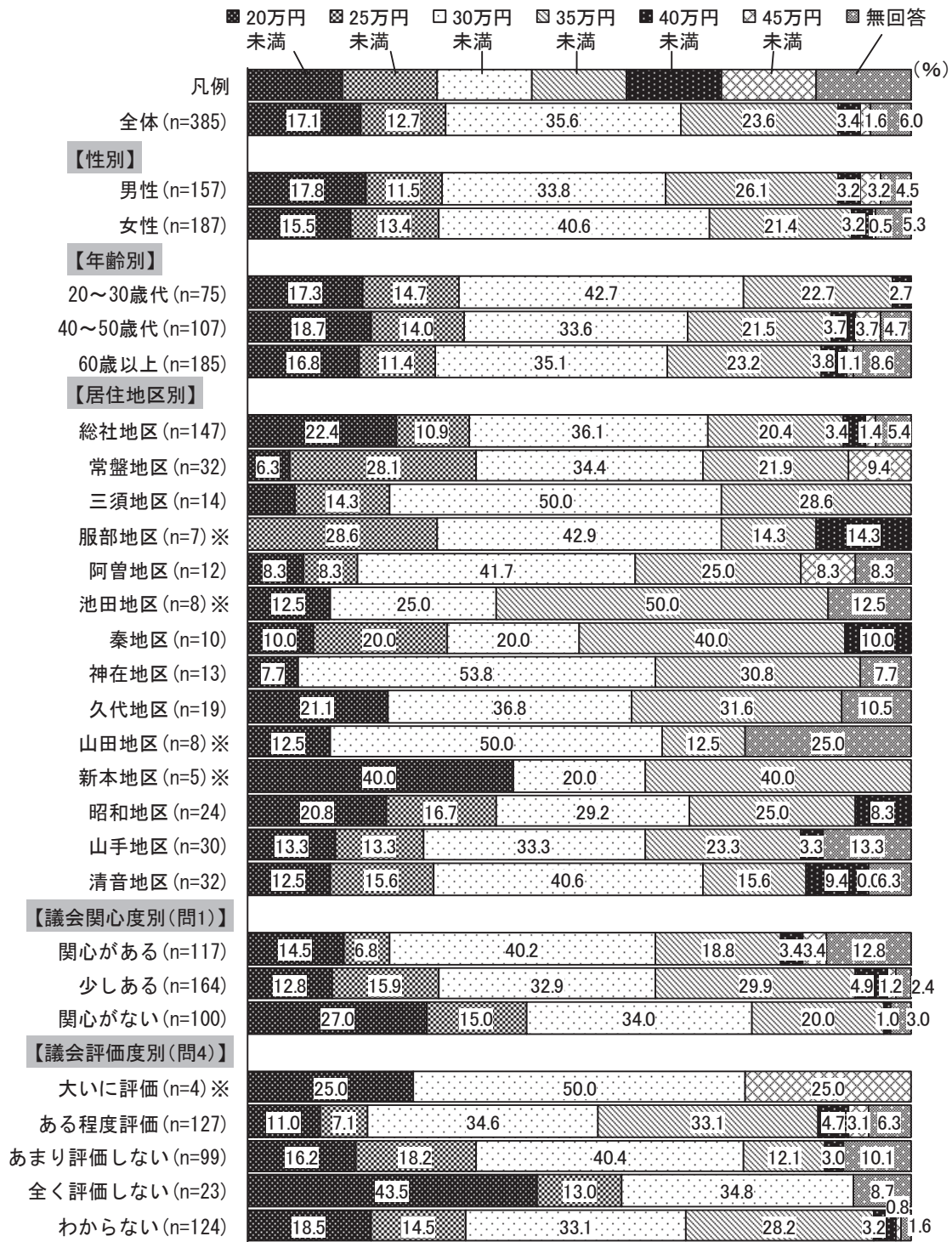
【居住地区別】

三須地区、神在地区などで「30万円未満」、常盤地区、秦地区、昭和地区などで「25万円未満」、総社地区、久代地区などで「20万円未満」の割合が、それぞれ他の地区を上回って高くなっている。

【議会関心度別(問1)・議会評価度別(問4)】

議会に関心がない層、及び議会を全く評価しない層ほど、議員報酬額が低めに回答されている。

◆問 11. 適正と思う議員報酬

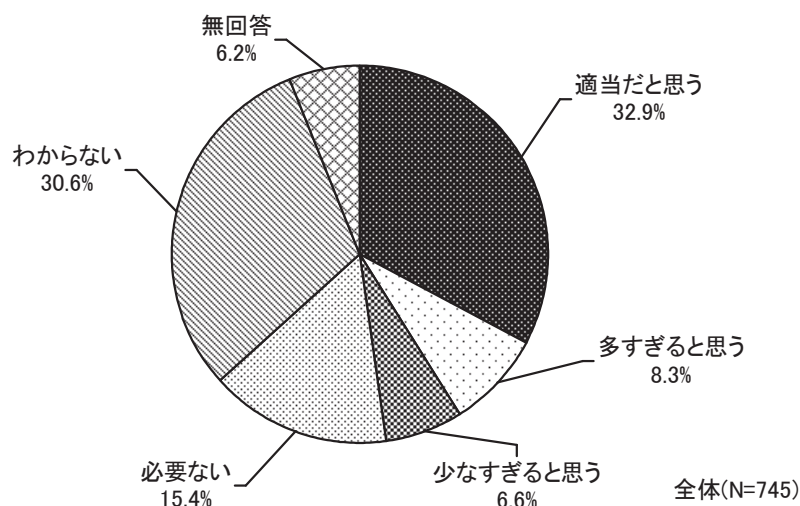


注: 上記クロス集計のうち, ※印は該当件数(n)が少ないため参考値として参照されたい。

12. 政務調査費について

問 12. 議員の調査研究のために必要な費用を支給する「政務調査費制度」があります。現在、総社市では月額2万5千円が支給されています。政務調査費についてどう思いますか。
(別紙、資料1「県下15市議会の状況」およびその裏面の資料2「政務調査費とは」を参照してください。)

【全体傾向】



【全体傾向】

政務調査費については、「適切だと思う」の割合が32.9%と最も高く、次いで「必要ない」(15.4%)、「多すぎると思う」(8.3%)、「少なすぎると思う」(6.6%)の順となっている。なお「わからない」への回答が30.6%を占め、「適切だと思う」と拮抗した。

【性別】

女性で「わからない」への回答がやや高いが、大きな男女差は目立たない。

【年齢別】

若い年齢層ほど「わからない」への回答が高くなる傾向にあるが、大きな年齢差は目立たない。

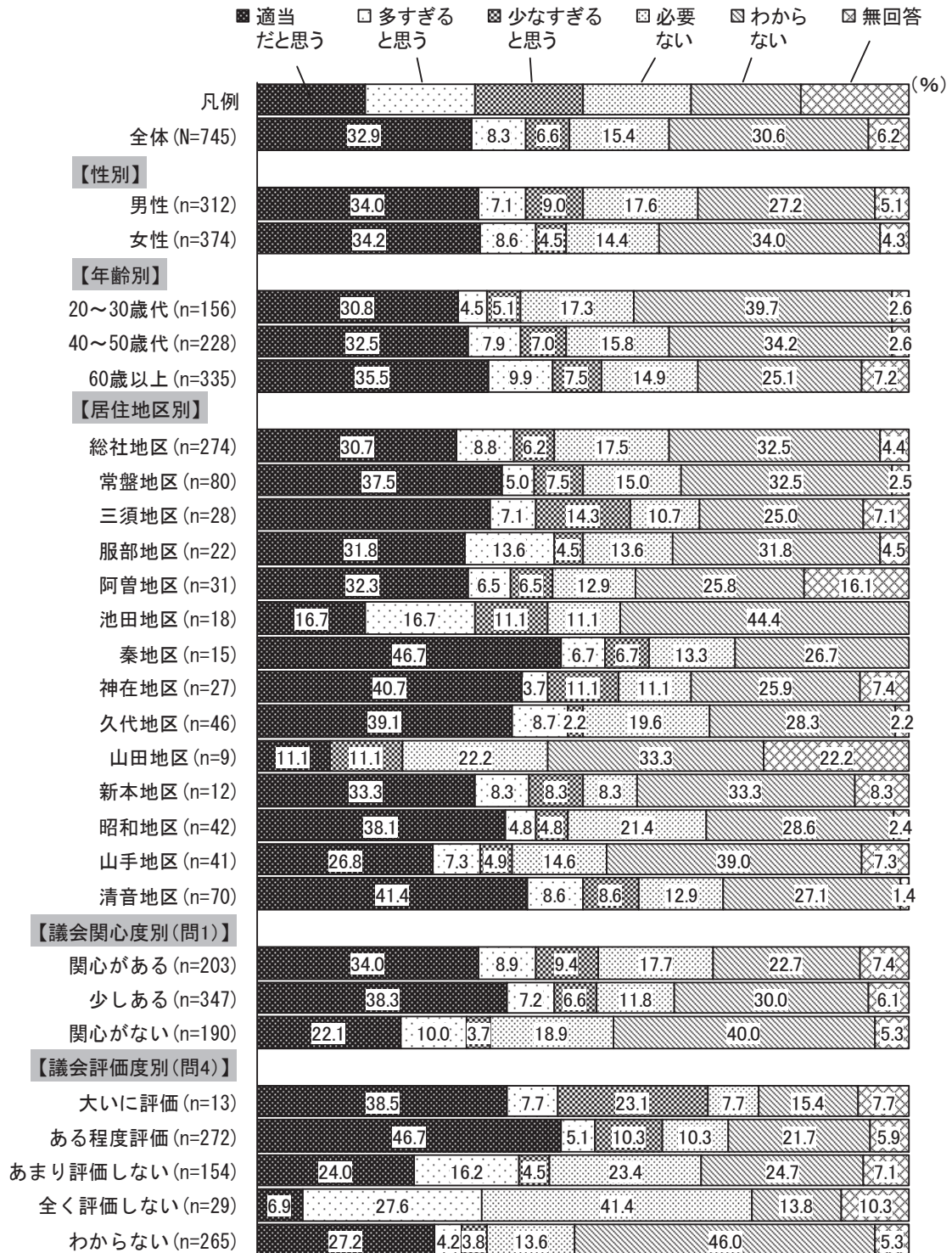
【居住地区別】

秦地区、神在地区、清音地区などで「適切だと思う」、服部地区、池田地区などで「多すぎると思う」、総社地区、久代地区、昭和地区などで「必要ない」の回答がそれぞれ他の地区を上回って高くなっている。

【議会関心度別(問1)・議会評価度別(問4)】

議会に関心がある層、及び議会を評価する層ほど「適切だと思う」の割合が高くなっている。

◆問 12. 政務調査費について

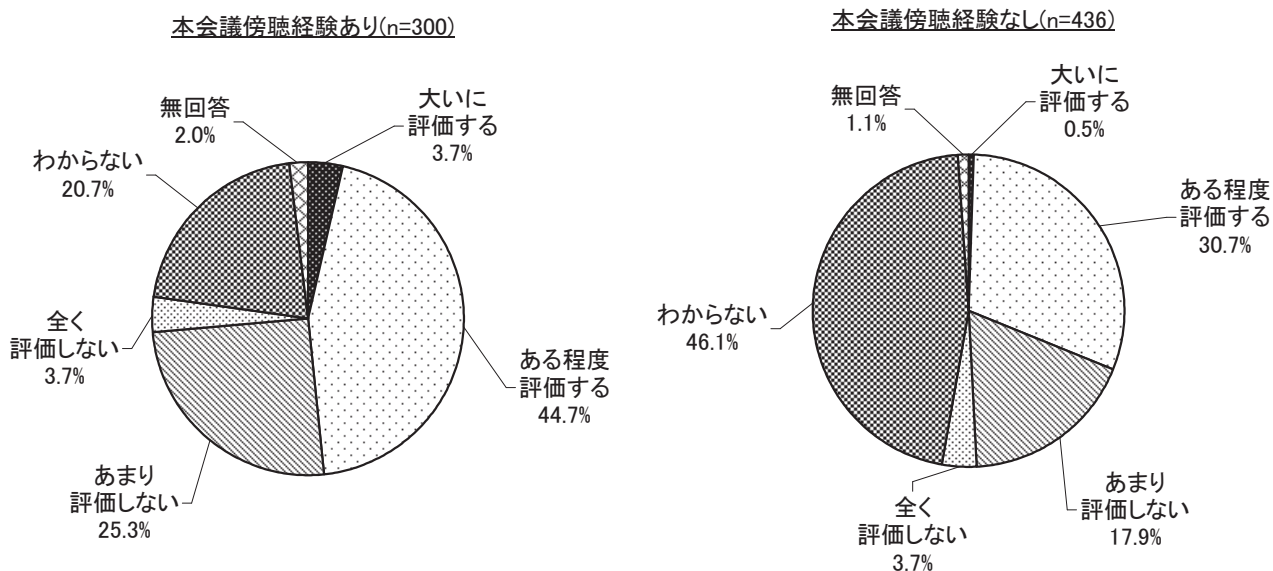


IV 本会議傍聴経験別クロス集計結果

1. 市議会に対する評価
2. 市民の意見や声の議会への反映
3. 市議会改革の必要性
4. 議会の課題について
5. 議員数について
6. 適正と思う議員数
7. 議員報酬について
8. 適正と思う議員報酬
9. 政務調査費について

1. 市議会に対する評価

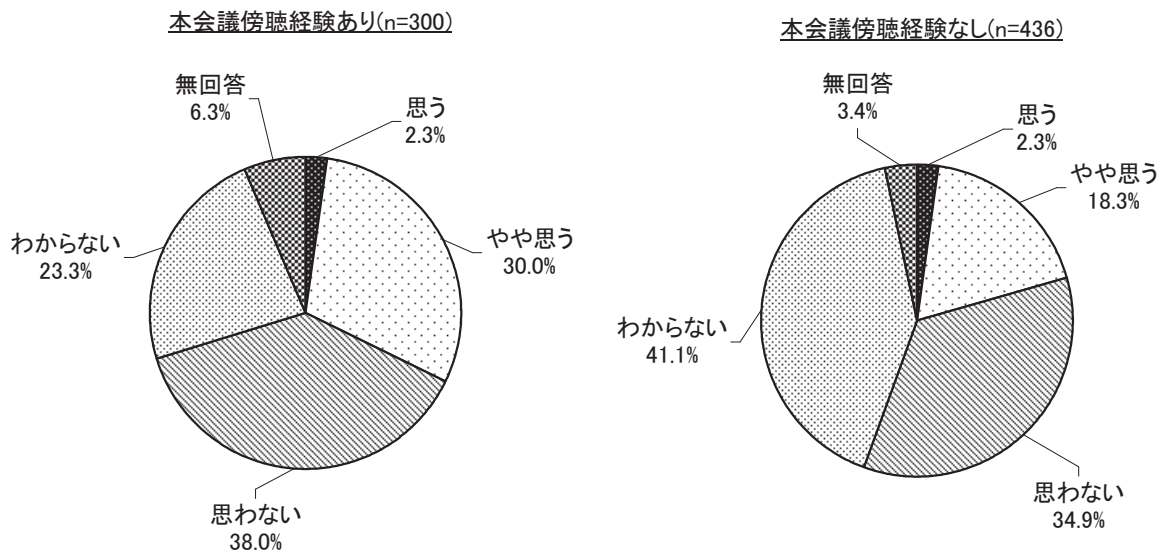
問4. 現在の市議会をどのように評価しますか。



	標本数	大いに評価する	ある程度評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答
全体	745	13	272	154	29	265	12
	100.0	1.7	36.5	20.7	3.9	35.6	1.6
本会議傍聴経験別							
本会議傍聴経験あり	300	11	134	76	11	62	6
	100.0	3.7	44.7	25.3	3.7	20.7	2.0
本会議傍聴経験なし	436	2	134	78	16	201	5
	100.0	0.5	30.7	17.9	3.7	46.1	1.1

2. 市民の意見や声の議会への反映

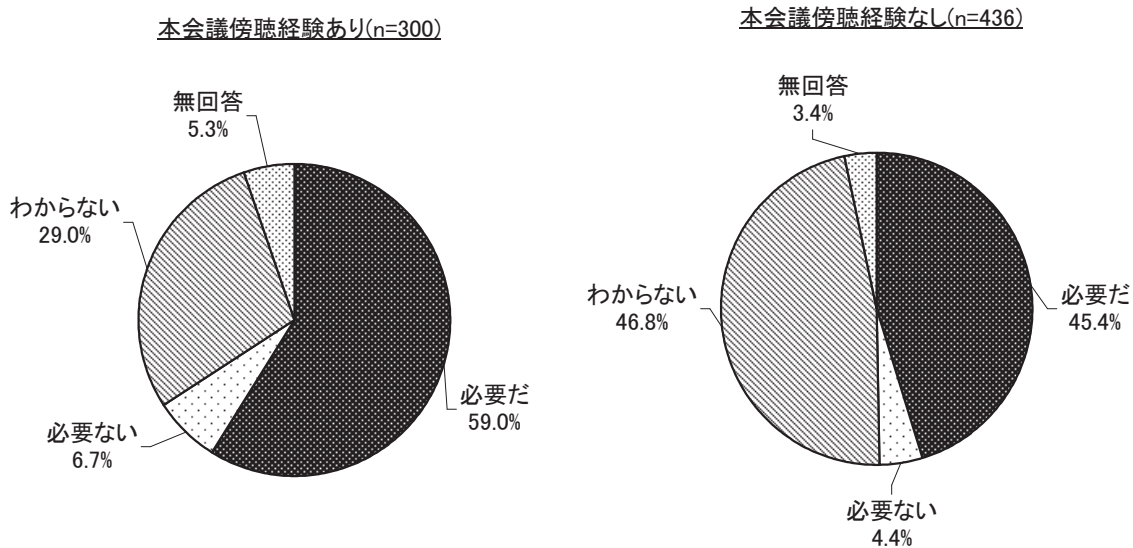
問5. あなたの意見や市民の声が、市議会に反映されていると思いますか。



	標本数	思う	やや思う	思わない	わからない	無回答
全体	745	17	172	271	250	35
	100.0	2.3	23.1	36.4	33.6	4.7
本会議傍聴経験別						
本会議傍聴経験あり	300	7	90	114	70	19
	100.0	2.3	30.0	38.0	23.3	6.3
本会議傍聴経験なし	436	10	80	152	179	15
	100.0	2.3	18.3	34.9	41.1	3.4

3. 市議会改革の必要性

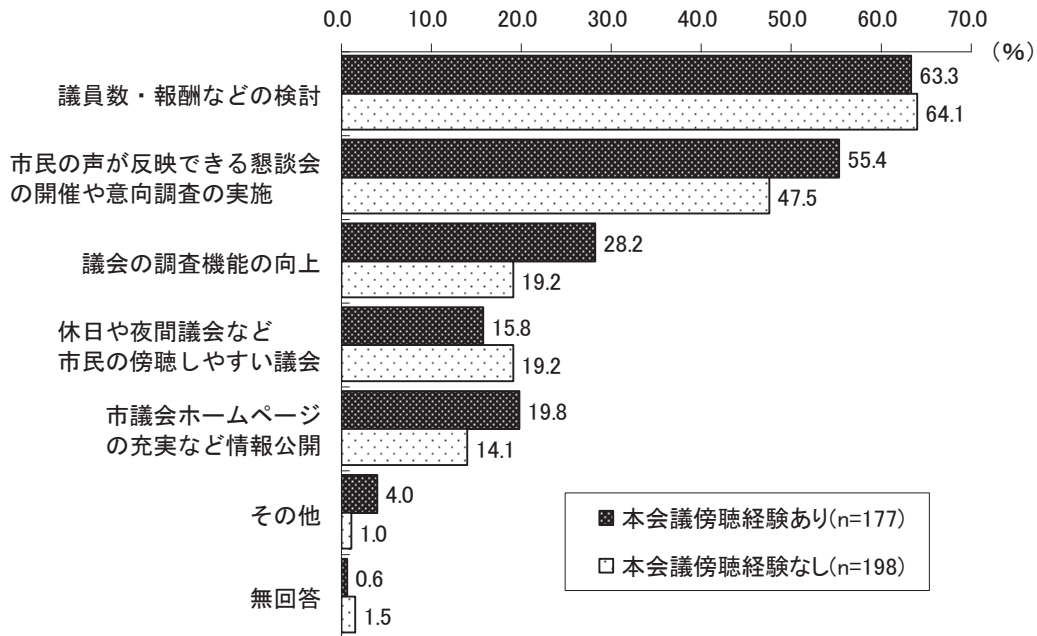
問6. 市議会の改革は必要だと思いますか。



	標本数	必要だ	必要ない	わからない	無回答
全体	745	381	40	292	32
	100.0	51.1	5.4	39.2	4.3
本会議傍聴経験別					
本会議傍聴経験あり	300	177	20	87	16
	100.0	59.0	6.7	29.0	5.3
本会議傍聴経験なし	436	198	19	204	15
	100.0	45.4	4.4	46.8	3.4

4. 議会の課題について

問7. 問6で「市議会の改革が必要だ」を選ばれた方にお尋ねします。議会が改革に取り組む課題は何だと思いますか。(複数回答可)

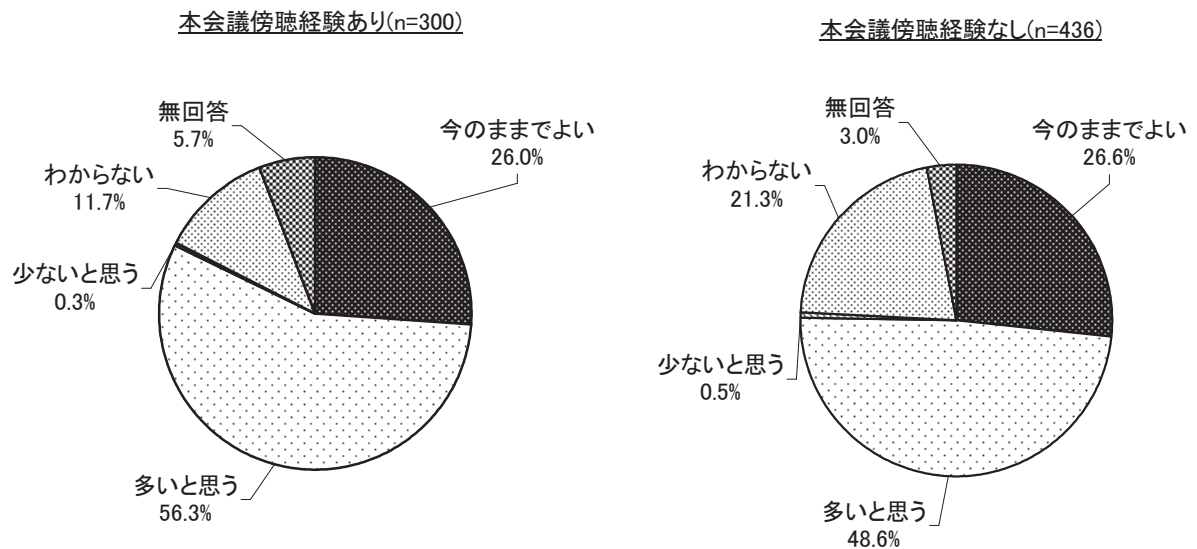


	標本数	議員数・報酬などの検討	市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施	議会の調査機能の向上	休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会	市議会ホームページの充実など情報公開	その他	無回答
全体	381	242	195	88	66	64	9	4
	100.0	63.5	51.2	23.1	17.3	16.8	2.4	1.0
本会議傍聴経験別								
本会議傍聴経験あり	177	112	98	50	28	35	7	1
	100.0	63.3	55.4	28.2	15.8	19.8	4.0	0.6
本会議傍聴経験なし	198	127	94	38	38	28	2	3
	100.0	64.1	47.5	19.2	19.2	14.1	1.0	1.5

5. 議員数について

問8. 議員定数は24人です。議員数についてどう思いますか。

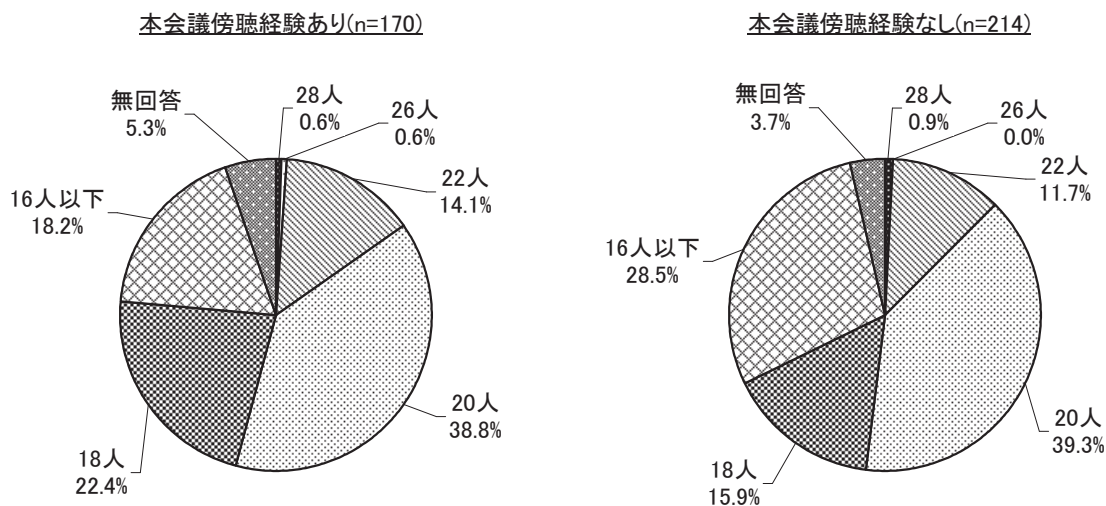
(別紙, 資料1「県下15市議会の状況」を参照してください。)



	標本数	今のままでよい	多と思う	少ないと思う	わからない	無回答
全体	745	194	387	3	129	32
	100.0	26.0	51.9	0.4	17.3	4.3
本会議傍聴経験別						
本会議傍聴経験あり	300	78	169	1	35	17
	100.0	26.0	56.3	0.3	11.7	5.7
本会議傍聴経験なし	436	116	212	2	93	13
	100.0	26.6	48.6	0.5	21.3	3.0

6. 適正と思う議員定数

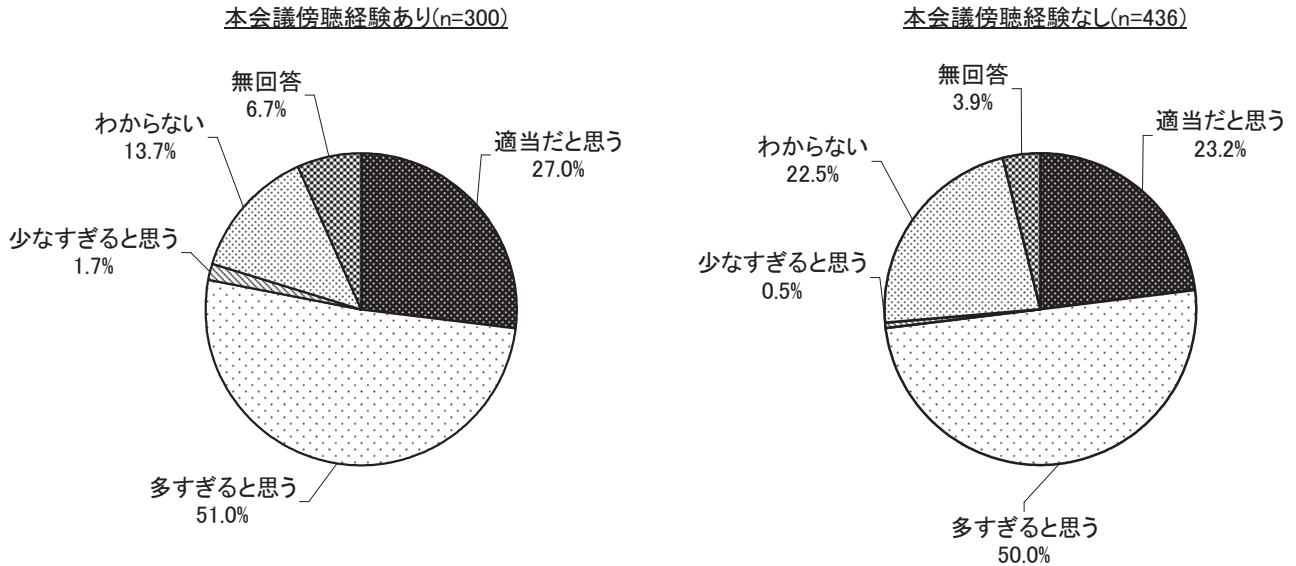
問9. 問8で、議員数が「多いと思う」「少ないと思う」を選ばれた方にお尋ねします。議員定数は、何人がよいと思いますか。



	標本数	28人	26人	22人	20人	18人	16人以下	無回答
全体	390	3	1	50	152	74	93	17
	100.0	0.8	0.3	12.8	39.0	19.0	23.8	4.4
本会議傍聴経験別								
本会議傍聴経験あり	170	1	1	24	66	38	31	9
	100.0	0.6	0.6	14.1	38.8	22.4	18.2	5.3
本会議傍聴経験なし	214	2	0	25	84	34	61	8
	100.0	0.9	0.0	11.7	39.3	15.9	28.5	3.7

7. 議員報酬について

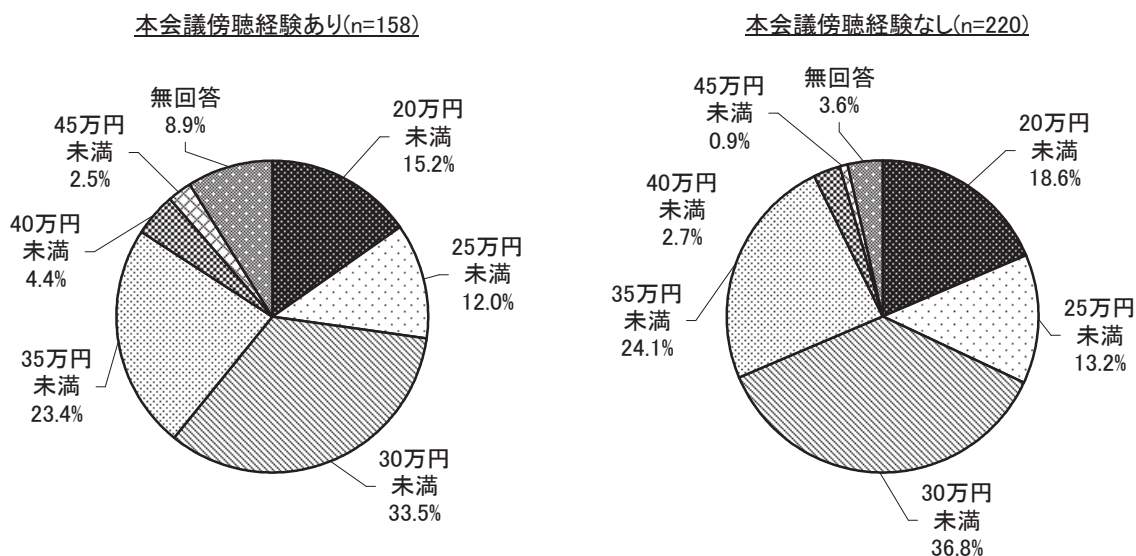
問 10. 市議会議員に、毎月 40 万円の報酬が支給されています。報酬について、どう思いますか。(別紙, 資料 1「県下 15 市議会の状況」を参照してください。)



	標本数	適当だと思う	多すぎると思う	少なすぎると思う	わからない	無回答
全体	745	182	378	7	140	38
	100.0	24.4	50.7	0.9	18.8	5.1
本会議傍聴経験別						
本会議傍聴経験あり	300	81	153	5	41	20
	100.0	27.0	51.0	1.7	13.7	6.7
本会議傍聴経験なし	436	101	218	2	98	17
	100.0	23.2	50.0	0.5	22.5	3.9

8. 適正と思う議員報酬

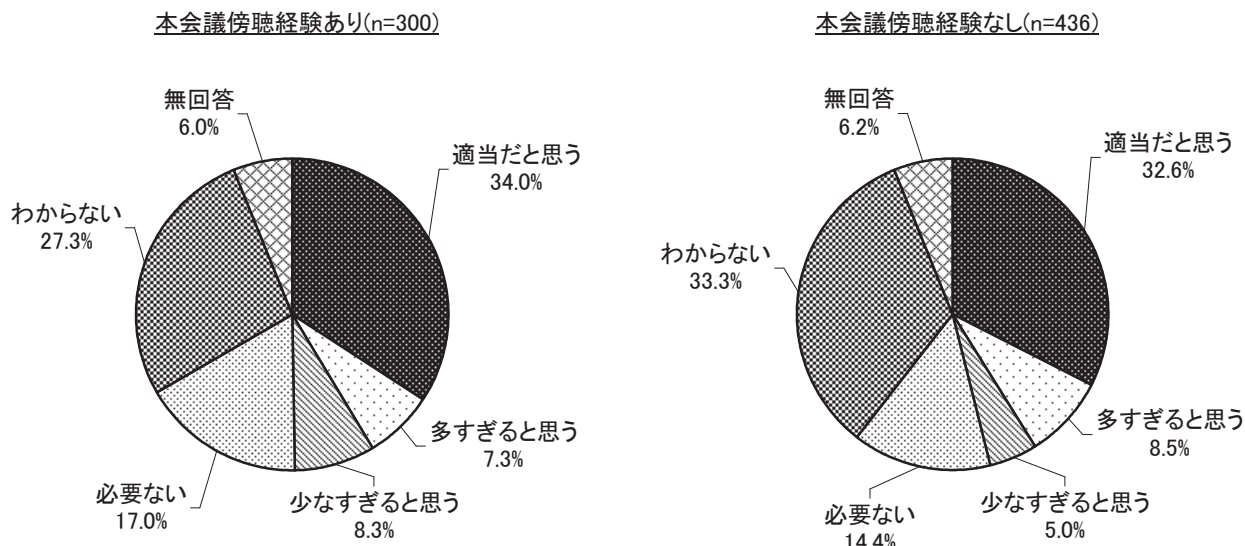
問 11. 問 10 で、報酬は「多すぎると思う」「少なすぎると思う」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。



	標本数	20万円未満	25万円未満	30万円未満	35万円未満	40万円未満	45万円未満	無回答
全体	385	66	49	137	91	13	6	23
	100.0	17.1	12.7	35.6	23.6	3.4	1.6	6.0
本会議傍聴経験別								
本会議傍聴経験あり	158	24	19	53	37	7	4	14
	100.0	15.2	12.0	33.5	23.4	4.4	2.5	8.9
本会議傍聴経験なし	220	41	29	81	53	6	2	8
	100.0	18.6	13.2	36.8	24.1	2.7	0.9	3.6

9. 政務調査費について

問 12. 議員の調査研究のために必要な費用を支給する「政務調査費制度」があります。現在、総社市では月額2万5千円が支給されています。政務調査費についてどう思いますか。
 (別紙, 資料1「県下15市議会の状況」およびその裏面の資料2「政務調査費とは」を参照してください。)



	標本数	適当だと思う	多すぎると思う	少なすぎると思う	必要ない	わからない	無回答
全体	745	245	62	49	115	228	46
	100.0	32.9	8.3	6.6	15.4	30.6	6.2
本会議傍聴経験別							
本会議傍聴経験あり	300	102	22	25	51	82	18
	100.0	34.0	7.3	8.3	17.0	27.3	6.0
本会議傍聴経験なし	436	142	37	22	63	145	27
	100.0	32.6	8.5	5.0	14.4	33.3	6.2

総社市議会に関するアンケート

次のことについて、該当するものに○印をひとつだけ、また、〔 〕内には、選んだ理由等を記入してください。

「複数回答可」と表示がある項目は、いくつ○印をつけてもかまいません。

問1

ア. ある イ. 少しある ウ. ない

理由
〔
〕

問2

ア. どの記事も読む イ. 関心のあるものだけ読む
ウ. ほとんど読まない エ. 知らない・見たことがない

理由
〔
〕

問3

ア. 議場で傍聴したことがある
イ. ケーブルテレビで見たことがある
ウ. インターネットで見たことがある エ. 見たことがない

理由
〔
〕

問4

ア. 大いに評価する イ. ある程度評価する
ウ. あまり評価しない エ. 全く評価しない オ. わからない

理由
〔 〕

問5 あなたの意見や市民の声が，市議会に反映されていると思いますか。

ア. 思う イ. やや思う ウ. 思わない エ. わからない

理由
〔 〕

問6 市議会の改革は必要だと思いますか。

ア. 必要だ イ. 必要ない ウ. わからない

理由
〔 〕

問7 問6で「市議会の改革が必要だ」を選ばれた方にお尋ねします。
議会が改革に取り組む課題は何だと思いますか。（複数回答可）

ア. 議会の調査機能の向上
イ. 休日や夜間議会など市民の傍聴しやすい議会
ウ. 市民の声が反映できる懇談会の開催や意向調査の実施
エ. 市議会ホームページの充実など情報公開
オ. 議員数・報酬などの検討 カ. その他（ ）

理由
〔 〕

問8 議員定数は24人です。議員数について、どう思いますか。
（別紙，資料1「県下15市議会の状況」を参照してください。）

ア. 今のままでよい イ. 多いと思う ウ. 少ないと思う
エ. わからない

理由
〔 〕

問9

問8で、議員数が「多いと思う」「少ないと思う」を選ばれた方にお尋ねします。議員定数は、何人がよいと思いますか。

- ア. 28人 イ. 26人 ウ. 22人
エ. 20人 オ. 18人 カ. 16人以下(人)

〔理由〕

問10

市議会議員に、毎月40万円の報酬が支給されています。

報酬について、どう思いますか。

(別紙、資料1「県下15市議会の状況」を参照してください)

- ア. 適当だと思う イ. 多すぎると思う
ウ. 少なすぎると思う エ. わからない

〔理由〕

問11

問10で、報酬は「多すぎると思う」「少なすぎると思う」を選ばれた方にお尋ねします。

あなたが思う議員報酬額とその理由をお書きください。

- ア. 20万円未満 イ. 25万円未満 ウ. 30万円未満
エ. 35万円未満 オ. 40万円未満 カ. 45万円以上

〔理由〕

問 12 議員の調査研究のために必要な費用を支給する「政務調査費制度」があります。現在、総社市では月額2万5千円が支給されています。政務調査費についてどう思いますか。
(別紙, 資料1「県下15市議会の状況」およびその裏面の資料2「政務調査費とは」を参照してください。)

- ア. 適当だと思う イ. 多すぎると思う
ウ. 少なすぎると思う エ. 必要ない オ. わからない
- 理由
- []

問 13 市議会への意見, 要望などがありましたらお書きください。

[]

◎ お手数ですが, 次の項目にもお答えください。

あなたの性別と年齢を教えてください。

- (性別) ア. 男性 イ. 女性
(年齢) ア. 20～30歳代 イ. 40～50歳代
 ウ. 60～70歳代 エ. 80歳代～

あなたのお住まいについて教えてください。

- ア. 総社地区 イ. 常盤地区 ウ. 三須地区 エ. 服部地区
オ. 阿曾地区 カ. 池田地区 キ. 秦地区 ク. 神在地区
ケ. 久代地区 コ. 山田地区 サ. 新本地区 シ. 昭和地区
ス. 山手地区 セ. 清音地区

◎ ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ, 5月11日(金)までにポストへ
投函してください。(切手は不要です。)

県下 15 市議会の状況（議員定数・報酬・政務調査費）

	面積 (km ²)	人口(人) ①注) 1	定数(人) ②	議員1人 当たり人口 (①/②)	議員報酬 (円)	政務調査費 (月額 円)
岡山市	789.91	711,424	46 注) 2	15,466	710,000	135,000
倉敷市	354.72	477,145	43	11,096	670,000	150,000
津山市	506.36	105,909	28	3,782	465,000	58,000
玉野市	103.63	63,602	21	3,029	450,000	35,000
笠岡市	136.03	53,359	22	2,425	420,000	45,000
井原市	243.36	43,344	22	1,970	350,000	30,000
総社市	212.00	66,125	24	2,755	400,000	25,000
高梁市	547.01	34,441	20 注) 4	1,566	325,000	30,000
新見市	793.27	33,244	18 注) 5	1,511	330,000	20,000
備前市	258.23	37,371	16 注) 3	2,336	355,000	25,000
瀬戸内市	125.53	37,792	22	1,718	350,000	20,000
赤磐市	209.43	43,343	22	1,970	350,000	30,000
真庭市	828.43	48,247	26	1,856	300,000	30,000
美作市	429.19	29,975	20 注) 6	1,363	320,000	30,000
浅口市	66.46	35,776	20	1,789	350,000	30,000

注) 1 人口＝岡山県毎月流動人口調査（岡山県：平成23年12月1日現在）

2 岡山市議員定数＝平成21年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から（現在52人）

3 備前市議員定数＝平成23年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から（現在22人）

4 高梁市議員定数＝平成23年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から（現在22人）

5 新見市議員定数＝平成24年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から（現在22人）

6 美作市議員定数＝平成24年に条例改正後、最初の市議会議員選挙から（現在22人）

◎「政務調査費」とは

政務調査費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究のため必要な経費の一部として交付されています。

総社市では「総社市議会政務調査費の交付に関する条例」に基づき、政務調査費を受けようとする議員に対し、月額2万5千円を申請により交付しています。

政務調査費の交付を受けた議員は、用途の明確化と透明性を高めるため、領収書等の支出の事実を証する書類の写しを添えて、収支報告書の提出が義務付けられており、残余额は返還しなければなりません。